

平成26年1月28日

(報道発表資料)

大阪観光局  
国土交通省近畿運輸局  
西日本電信電話株式会社  
エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム株式会社

## 大阪府全域における、外国人旅行者等向け 無料 Wi-Fi サービス「Osaka Free Wi-Fi」の開始について

大阪観光局は、外国人旅行者や国内旅行者が大阪府内の観光施設、公共交通機関、ホテルや飲食店などで利用できる無料 Wi-Fi サービス「Osaka Free Wi-Fi」を1月29日(水)から提供開始します。また多くの旅行者に利用いただくための集客サービス「Osaka Enjoy Rally」も合わせて提供開始します。

「Osaka Free Wi-Fi」の利用環境の整備については、西日本電信電話株式会社 関西事業本部(以下 NTT 西日本)、エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム株式会社(以下 NTTBP)等と連携して推進します。

さらに旅行者の満足度を向上させるサービスの充実に向け、大阪府、大阪市、国土交通省近畿運輸局(以下近畿運輸局)など、官・民の連携体制により「Osaka Free Wi-Fi」を強力に展開します。

### 1. 目的

大阪を訪れる外国人旅行者は、年間約203万人(平成24年実績)で、平成25年は260万人前後と想定されており年々増加しています。一方、近年のスマートフォンやタブレット端末の普及に伴い、旅行者が観光情報、交通アクセス情報や大阪の特徴的な食文化の情報など、観光に便利な情報を入手できる環境を整備することは、大阪の魅力を伝えるためには不可欠なものとなります。

しかしながら、外国人旅行者については、日本政府観光局の調査<sup>※1</sup>によると、訪日中にインターネットを利用する目的で接続用の端末を持参している旅行者は9割以上であるのに対して、各地で無料 Wi-Fi 環境整備が進んでいるものの、インターネットの接続環境への不満は未だに多数となっています。

このような課題に対し、「Osaka Free Wi-Fi」は旅行者の不満を解消し、さらに利用活性化のために「Osaka Enjoy Rally」と組み合わせて提供します。そして外国人旅行者については、大阪での感動をインターネットからタイムリーに発信し、全世界に向けて大阪の魅力を積極的に告知して頂きます。また、大阪府が目標とする2020年(平成32年)の外国人旅行者650万人達成に向け、さらなる観光客の増加につなげていきたいと考えています。

※1:「平成24年度TIC利用外国人旅行者調査報告書 平成25年3月日本政府観光局(JNTO)」より

### 2. 実施概要

#### (1)外国人旅行者等向け無料 Wi-Fi サービス「Osaka Free Wi-Fi」の提供

旅行者が観光に必要な情報の入手や感動を発信するシーンを想定し、関西国際空港、大阪市営地下鉄・私鉄等の公共交通機関、観光施設、ホテル、商業施設・商店街・飲食・物販店などの店舗等において無料で利用できる Wi-Fi サービスを提供します。

接続環境の拡大においては、施設・店舗等オーナー様の協力、Wi-Fi サービス運営事業者であるNTTBP、エヌ・ティ・ティ・メディアサプライ株式会社(以下 NTT メディアス)等、さらにはアクセス回線や利用環境整備の協力事業者としてNTT 西日本等と協働し、「Osaka Free Wi-Fi」を展開します。その他にも、既存 Wi-Fi サービス事業者とも連携して、訴求の加速につなげていきます。

設置場所、通信可能時間、利用料金等

	設置場所	主たる 運営事業者	通信可能 時間	利用 料金
(a)Osaka Free Wi-Fi	公共交通機関 (空港・市営地下 鉄・私鉄 <sup>※2</sup> )等	NTTBP 等	無制限 (30分×n回) <sup>※3</sup>	無料
(b)Osaka Free Wi-Fi Lite	観光地、ホテル、 その他店舗等	NTTメディアス	最大1時間 (15分×4回) <sup>※4</sup>	

※2: 京阪電気鉄道、南海電気鉄道、近畿日本鉄道

※3: 30分経過して利用する場合、一度接続画面に戻りますので再度認証が必要です。なお2回目以降はセキュリティ警告への同意のみで簡素に接続できます。

※4: 15分を経過して利用する場合、一度接続画面に戻りますので、再度認証が必要です。なお、2回目以降は接続ボタンを押すだけで、簡単に接続できます。

なお「(a)Osaka Free Wi-Fi」では、旅行者(特に訪日外国人)のWi-Fi利用時の利便性を高めるために、Androidアプリ「Japan Connected-free Wi-Fi」<sup>※5</sup>をNTTBPより提供する予定です。(H26年2月予定)

※5: 日本各地で提供しているフリーWi-Fiについてはエリアオーナーが変わるごとにSSIDの選択やインターネット接続認証のための登録が必要ですが、本アプリに登録することで都度の入力作業をしなくても自動処理でフリーWi-Fiの接続が可能となります。(初回の登録のための入力が必要です。)

① アクセスエリアの拡大計画

「Osaka Free Wi-Fi」提供場所の拡大につきましては、店舗・施設等のオーナー様の協力のもと進めていきます。サービス開始時点では、公共交通機関、ホテル、飲食店合わせて、42箇所(アクセスポイント数152)で「Osaka Free Wi-Fi」が利用可能です。さらに現在、大阪観光局の賛助会員を含め56箇所(アクセスポイント数約200)の事前申込みがあり、提供開始に向けて準備を進めています。また、屋外でのWi-Fi環境として、飲料自動販売機にも利用環境を整備していきます。具体的な利用エリアについては、別紙1の「Osaka Free Wi-Fi」設置場所を参照願います。今後、平成26年12月までに3,000箇所(アクセスポイント数8,000)の整備を行い、順次拡大していく予定です。

(2) 集客サービス「Osaka Enjoy Rally」の提供

「Osaka Free Wi-Fi」の利用活性化に向けて、店舗情報や特典情報を掲載したポータルサイト「Osaka Enjoy Rally」をタウンネットアドバンス株式会社の協力により、提供します。このポータルサイトは、旅行者の利用を想定して、日本語のほか5か国語(英語、中国語(繁・簡)、韓国語、タイ語)に対応しています。さらに利用者が、このポータルに登録されている参加加盟店で飲食・購買を行った場合に、何らかの特典を利用者全員が受けられ、さらに会計時には参加加盟店共通で使える割引券の取得ゲームに参加できます。つまり、利用者にダブル特典を受けられるサービスとして提供します。

① 「Osaka Enjoy Rally」について

「Osaka Free Wi-Fi」に接続した際TOPページに掲載されている、「Osaka Enjoy Rally」参加加盟店検索紹介ページ(ポータルサイト)からアクセスできます。この参加加盟店検索紹介ページとは、「Osaka Free Wi-Fi」導入店の中から、主に外国人旅行者を個別に集客したい店が掲載され、参加加盟店は、「Osaka Free Wi-Fi」をきっかけに販売促進につなげることができます。この「Osaka Enjoy Rally」への加盟は有料になっており、「Osaka Free Wi-Fi」のインフラ拡大によるコストの原資に使います。財源ありきのインフラ整備でなく自主財源で運用できる新しいモデルになります。今後、平成26年12月までに1,000加盟店舗を目指します。

### (3) 災害時の提供

災害時には、すべての「Osaka Free Wi-Fi」が時間の制限なく<sup>※6</sup>、利用可能となります。

※6:「(a)Osaka Free Wi-Fi」の場合:30分×n回(通信可能時間は平常時通り無制限です。)

「(b)Osaka Free Wi-Fi Lite」の場合:15分×n回(通信可能時間は無制限となります。)

### (4) 協働プロモーションの展開

「Osaka Free Wi-Fi」の認知拡大・利用促進・提供エリア拡大に向けて大阪観光局が運営するOsaka-Info<sup>※7</sup>等のウェブサイトによるPR および各言語対応している大阪観光局公式ガイドブック・大阪観光局公式MAP・パンフレット・ステッカー、ポスターの制作、展開等を行います。

※7:大阪観光局が運営する大阪観光情報サイト。年間4,700万ビューのアクセスがあり、「Osaka Enjoy Rally」と同じく6か国語対応しています。(http://www.osaka-info.jp/)

### (5) 官・民一体となった推進体制によるサービス拡充検討

さらなる展開に向け、大阪府、大阪市、近畿運輸局や民間企業など、官・民一体となったオール大阪での「Osaka Free Wi-Fi 整備計画推進委員会」を設立し、「Osaka Free Wi-Fi」の利用エリア拡大やサービスの拡充に向けて、検討を進めます。委員会構成団体については、別紙2を参照願います。

## 3. 提供時期

無料 Wi-Fi サービス「Osaka Free Wi-Fi」は、平成26年1月29日(水)より利用可能となります。また、集客サービス「Osaka Enjoy Rally」は、平成26年3月1日(土)より利用可能となります。(加盟店舗の受付は1月29日(水)より開始します。)

なお、利用エリアについては、大阪観光局のウェブサイト(Osaka-Info)にて、順次更新いたします。

以上

## 設置リスト

	設置場所	AP数
<b>●近畿日本鉄道</b>		
1	大阪難波駅	5
2	近鉄日本橋駅	4
3	布施駅	5
4	石切駅	4
5	大阪阿部野橋駅	4
6	富田林駅	3
7	河内長野駅	4
8	新石切駅	4
<b>●南海電気鉄道</b>		
9	なんば駅	9
10	新今宮駅	4
11	天下茶屋駅	6
12	堺東駅	4
13	住吉大社駅	4
14	堺駅	6
15	湊駅	4
16	泉佐野駅	5
17	金剛駅	4
18	河内長野駅	6
<b>●京阪電気鉄道</b>		
19	淀屋橋駅	7
20	北浜駅	5
21	天満橋駅	6
22	京橋駅	8
23	中之島駅	5
24	渡辺橋駅	5
25	大江橋駅	5
26	なにわ橋駅	6
<b>●観光施設</b>		
27	空中庭園展望台	3
28	通天閣	1
29	大阪府咲洲庁舎展望台	1
30	大阪企業家ミュージアム	1
31	四天王寺	2
32	上方浮世絵館	1
33	大阪市観光案内所(梅田・難波)	2

	設置場所	AP数
34	天見温泉南天苑	1
35	水上バス	1
<b>●商業施設</b>		
36	戎橋TSUTAYA	1
<b>●ホテル</b>		
37	グランパスイン大阪	1
38	ゲストハウス天王寺	1
<b>●個店</b>		
39	フォーサイス	1
40	湖月	1
41	マジックステージ	1
42	ハードロックカフェ	1
合計	152 (AP数)	

## 設置予約リスト（1月29日～）

	設置場所	AP数
<b>●大阪市交通局（2月～）</b>		
1	新大阪駅（御堂筋線）	調整中 ※8
2	梅田駅（〃）	
3	淀屋橋駅（〃）	
4	心斎橋駅（〃）	
5	なんば駅（〃）	
6	動物園前駅（〃）	
7	天王寺駅（〃）	
8	長居駅（〃）	
9	天神橋筋六丁目駅（谷町線）	
10	東梅田駅（〃）	
11	南森町駅（〃）	
12	天満橋駅（〃）	
13	谷町四丁目駅（〃）	
14	四天王寺前夕陽ヶ丘駅（〃）	
15	天王寺駅（〃）	
16	西梅田駅（四つ橋線）	
17	肥後橋駅（〃）	
18	四ツ橋駅（〃）	
19	なんば駅（〃）	
20	大阪港駅（中央線）	
21	谷町四丁目駅（〃）	
22	森ノ宮駅（〃）	
23	コスモスクエア駅（〃）	
24	なんば駅（千日前線）	
25	日本橋駅（〃）	
26	天神橋筋六丁目駅（堺筋線）	
27	扇町駅（〃）	
28	南森町駅（〃）	
29	北浜駅（〃）	
30	日本橋駅（〃）	
31	恵美須町駅（〃）	
32	動物園前駅（〃）	
33	心斎橋駅（長堀鶴見緑地線）	
34	森ノ宮駅（〃）	
35	大阪ビジネスパーク駅（〃）	
36	京橋駅（〃）	

	設置場所	AP数
37	コスモスクエア駅 （南港ポートタウン線）	調整中 ※8
38	トレードセンター前駅（〃）	
39	中ふ頭駅（〃）	
<b>●南海電気鉄道（3月～）</b>		
40	岸和田駅	6
41	りんくうタウン駅	5
<b>●新関西国際空港（4月～）</b>		
42	空港内	13
<b>●観光施設（2月～）</b>		
43	大阪市立科学館	1
44	大阪城天守閣	1
45	大阪くらしの今昔館	1
46	大阪天保山大観覧車	1
47	サンタマリア	2
48	とんぼりリパークルーズ	1
<b>●商業施設（2月～）</b>		
49	ドン・キホーテ（梅田）	2
50	ドン・キホーテ（道頓堀）	2
51	ドン・キホーテ（十三）	2
<b>●ホテル（2月～）</b>		
52	御堂筋ホテル	1
<b>●個店（2月～）</b>		
53	株式会社 せのや	2
54	大阪フード	1
55	有限会社 柔 Dining	1
56	株式会社 HASSIN	3
合計	約 200（AP数）	

※8:大阪市営地下鉄・ニュートラムについては、ホーム、コンコースをカバーするエリアに設置すると想定し、平均1駅4APで計算

Osaka Free Wi-Fi 整備計画推進委員会

幹事会・・・主として委員会の意思決定の役割

<幹事団体>

- ・大阪観光局
- ・大阪府
- ・大阪市
- ・国土交通省近畿運輸局
- ・大阪商工会議所
- ・西日本電信電話株式会社
- ・エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム株式会社
- ・タウンネットアドバンス株式会社

委員長：大阪観光局 加納局長

<委員会に参画する団体>

- ・新関西国際空港株式会社
- ・エヌ・ティ・ティ・メディアサプライ株式会社
- ・近畿日本鉄道株式会社
- ・南海電気鉄道株式会社
- ・京阪電気鉄道株式会社
- ・コカ・コーラウエスト株式会社
- ・KDDI 株式会社
- ・エレコム株式会社
- ・サントリービバレッジサービス株式会社
- ・情報セキュリティ・マネジメント株式会社
- ・アサヒ飲料株式会社
- ・ジョルダン株式会社

注：幹事団体は委員としても検討に参加する。